

食品安全委員会の2月の運営について

1. 食品安全委員会の開催

第417回 2月2日（木）

- (1) BSE対策に関する調査結果等について
- ・厚生労働省及び農林水産省から説明。
- (2) 食品健康影響評価の要請
- ・以下の案件についてリスク管理機関から説明。

遺伝子組換え食品等 （1品目）	除草剤ジカンバ耐性ダイズMON87708系統
--------------------	------------------------

- (3) 食品健康影響評価
- ・以下の案件について検討し、食品健康影響評価の結果をリスク管理機関に通知。

動物用医薬品（1品 目）	フルニキシシ
-----------------	--------

- (4) 食品安全関係情報（1月6日～1月20日収集分）について
- ・事務局から報告。

第418回 2月9日（木）

- (1) 食品健康影響評価の要請
- ・以下の案件についてリスク管理機関から説明。

動物用医薬品（1品 目）	鶏大腸菌症生ワクチン（ガルエヌテクトCBL）
農薬（1品目）	アミスルブロム（意見聴取に係る追加データ）

- (2) 添加物専門調査会における審議結果についての報告
- ・同専門調査会から報告された以下の案件について、国民からの意見・情報の募集に着手することを決定。

添加物（1品目）	リン酸一水素マグネシウム
----------	--------------

(3) 食品健康影響評価

- ・以下の案件について検討し、食品健康影響評価の結果をリスク管理機関に通知。

農薬（2品目）	シメコナゾール、シラフルオフェン
農薬及び動物用医薬品（1品目）	アバメクチン

(4) 食品安全委員会の1月の運営について

- ・事務局から報告。

第419回 2月16日（木）

(1) 食品安全基本法第11条第1項第1号に規定する「食品健康影響評価を行うことが明らかに必要でないとき」について

- ・食品衛生法第11条第1項の規定に基づき定められた「食品、添加物等の規格基準」の「過酸化水素」の使用基準の改正については、食品健康影響評価を行うことが明らかに必要でないとは判断できず、食品安全基本法第11条第1項第1号に該当するとは認められないことが確認された。

(2) 添加物専門調査会における審議結果についての報告

- ・同専門調査会から報告された以下の案件について、国民からの意見・情報の募集に着手することを決定。

添加物（1品目）	イソプロパノール
----------	----------

(3) 企画等専門調査会における審議結果についての報告

- ・平成23年度食品安全委員会が自ら行う食品健康影響評価の案件候補の選定について、本年度の「自ら評価」対象案件はないが、本年度の調査審議対象となった案件について情報提供を行うこととなった。
- ・「自ら評価」の今後の進め方（案）について、案のとおり決定し、本決定に従って進めていくこととなった。
- ・平成24年度食品安全委員会運営計画（案）について、国民からの意見・情報の募集手続に着手することを決定。
- ・平成24年度食品安全委員会緊急時対応訓練計画（案）について、案のとおり決定。

(4) 食品健康影響評価

- ・以下の案件について検討し、食品健康影響評価の結果をリスク管理機関に通知。

農薬（3品目）	ピラフルフェンエチル、メタフルミゾン、レピメクチン
遺伝子組換え食品等（1品目）	BR151(pUMQ1)株を利用して生産された4- α -グルカノトランスフェラーゼ

(5) 「食品安全委員会における調査審議方法等について」の改正について

- ・事務局から説明があり、案のとおり改正することを決定。

(6) 食品安全関係情報（1月21日～2月3日収集分）について

- ・事務局から報告。

第420回 2月23日（木）

(1) 食品安全基本法第11条第1項第1号に規定する「食品健康影響評価を行うことが明らかに必要でないとき」について

- ・食品衛生法第11条第1項の規定に基づき定められた「食品、添加物等の規格基準」の「サッカリンカルシウム」の使用基準の改正については、食品安全基本法第11条第1項第1号の食品健康影響評価を行うことが明らかに必要でないときに該当することが確認された。

(2) 各専門調査会における審議結果についての報告

- ・動物用医薬品専門調査会、遺伝子組換え食品等専門調査会及び肥料・飼料等専門調査会から報告された以下の案件について、国民からの意見・情報の募集に着手することを決定。

動物用医薬品（2品目）	ラクトフェリン、ラクトフェリンを有効成分とする牛の乳房注入剤（マストラック）
遺伝子組換え食品等（1品目）	LU11439株を利用して生産されたリボフラビン
肥料・飼料等（11品目）※全て対象外物質	アスパラギン、アラニン、アルギニン、グリシン、グルタミン、セリン、チロシン、バリン、ヒスチジン、メチオニン、ロイシン

(3) 食品健康影響評価

- ・以下の案件について検討し、食品健康影響評価の結果をリスク管理機関に通知。

農薬（3品目）	エスプロカルブ、ノバルロン、フェリムゾン
---------	----------------------

- (4) 食品安全モニター課題報告「食品の安全性に関する意識等について」(平成23年8月実施)の結果について
- ・事務局から報告。

2. 専門調査会の運営

(1) 企画等専門調査会

第2回 2月3日(金)

- ・平成23年度食品安全委員会が自ら行う食品健康影響評価の案件候補(グラヤノトキシン、アニサキス、ジアルジア、ヒラメ毒及び3-MCPD・3-MCPD脂肪酸エステル)について、事務局より説明があり、審議の結果、案件候補の選定基準に照らすと、本年度の「自ら評価」案件候補に該当するものはないが、これらを含め、本年度の調査審議対象となった案件については、情報提供を行うことが適当である旨、食品安全委員会に報告することとなった。
- ・「「自ら評価」案件の取扱いについて(案)」について、事務局より説明があり、審議の結果、一部修正の上、食品安全委員会に報告することとなった。
- ・「平成24年度食品安全委員会運営計画新旧対照表(案)」について、事務局より説明があり、審議の結果、一部修正の上、食品安全委員会に報告することとなった。
- ・「平成23年度食品安全委員会緊急時対応訓練について(案)」について、事務局より説明があり、審議の結果、案のとおり、食品安全委員会に報告することとなった。
- ・「平成24年度食品安全委員会緊急時対応訓練計画(案)」について、事務局より説明があり、審議の結果、一部修正の上、食品安全委員会に報告することとなった。
- ・平成23年度における食品安全委員会のリスクコミュニケーションの実施状況及び食品安全モニターの募集について、事務局より説明があった後、意見交換が行われた。

(2) 農薬専門調査会

第80回 幹事会 2月10日(金)

- ・「ホスメット」について調査審議し、継続審議することとなった。
- ・「クロチアニジン」及び「チアメトキサム」について調査審議し、評価書(案)を一部修正の上、食品安全委員会に報告することとなった。
- ・「アメトクトラジン」について検討の結果、評価第三部会において調査審議することとなった。
- ・「イプフェンカルバゾン」について検討の結果、評価第一部会において調査審議することとなった。
- ・「ピリオフェノン」について検討の結果、評価第四部会において調査審議することとなった。

第14回 評価第一部会 2月14日(火) ※非公開

- ・「プロピコナゾール」について調査審議し、継続審議することとなった。

第15回 評価第四部会 2月20日(月) ※非公開

- ・「ピリオフェノン」について調査審議し、評価書(案)を一部修正の上、農薬専門調査会幹事会に報告することとなった。ただし、確認事項に対する回答について評価部会で確認することとなった。

第15回 評価第三部会 2月22日(水) ※非公開

- ・「アメトクトラジン」について調査審議し、継続審議することとなった。

第13回 評価第二部会 2月27日(月) ※非公開

- ・「スピロジクロフェン」について調査審議し、評価書(案)を一部修正の上、農薬専門調査会幹事会に報告することとなった。
- ・「トリフルミゾール」について調査審議し、継続審議することとなった。
- ・「フルオピラム」について調査審議し、継続審議することとなった。

(3) 動物用医薬品専門調査会

第137回 2月29日(水)

- ・「キシラジン」について調査審議し、継続審議することとなった。

(4) 化学物質・汚染物質専門調査会

第7回 汚染物質部会 2月15日(水)

- ・「ヒ素」について調査審議し、継続審議することとなった。

第8回 幹事会 2月23日(水)

- ・「硝酸性窒素・亜硝酸性窒素」について調査審議し、評価書(案)を一部修正の上、食品安全委員会に報告することとなった。
- ・「バリウム」について調査審議し、評価書(案)を一部修正の上、食品安全委員会に報告することとなった。
- ・「ニッケル」について調査審議し、一部確認を要する点があり、その点を確認した上で、食品安全委員会に報告することとなった。
- ・「ふっ素」について調査審議し、一部確認を要する点があり、その点を確認した上で、食品安全委員会に報告することとなった。

(5) 微生物・ウイルス専門調査会

第29回 2月28日(火)

- ・「リステリア・モノサイトゲネス」について、事務局より厚生労働省からの諮問内容及び背景情報について説明後、質疑応答が行われた。
- ・食品健康影響評価のとりまとめの方針について議論が行われた。
- ・今後、事務局が専門委員に個別相談しながら審議のための資料を作成し、審議を進めていくこととなった。

(6) プリオン専門調査会

第68回 2月27日(月)

- ・「牛海綿状脳症(BSE)対策の見直しについて」は、座長から評価に当たって整理が必要な項目ごとに起草委員を依頼したことについて説明があった。
- ・事務局から、前回以降の整理状況について説明。
- ・整理すべき事項の全体像について、専門調査会としての共通認識とすることが確認された。また、今後牛群の感染状況等をも精査し、その結果も踏まえて慎重に検討を進めていくこととなった。
- ・「BSE対策に関する調査結果等について」を事務局から説明。

(7) 遺伝子組換え食品等専門調査会

第101回 2月17日(金) ※非公開

- ・「LU11439株を利用して生産されたりボフラビン」について調査審議し、評価書(案)を一部修正の上、食品安全委員会に報告することとなった。
- ・「アシルオキシアルカノエート系除草剤耐性トウモロコシ40278系統(食品・飼料)」について調査審議し、評価書(案)を一部修正の上、食品安全委員会に報告することとなった。
- ・「除草剤ジカンバ耐性ダイズMON87708系統(食品・飼料)」について調査審議し、継続審議することとなった。

(8) 新開発食品専門調査会

第83回 2月21日(火)

- ・「食品中のトランス脂肪酸」について調査審議し、評価書(案)を一部修正の上、食品安全委員会に報告することとなった。

第84回 2月21日(火) ※非公開

- ・「コタラエキス」について調査審議し、継続審議することとなった。
- ・「キシリトール オーラテクトガム<クリアミント>、キシリトール オーラテクトガム<スペアミント>」について調査審議し、継続審議することとなった。

(9) 肥料・飼料等専門調査会

第53回 2月21日(火)

- ・「モネンシン」について調査審議し、評価書(案)を一部修正の上、食品安全委員会に報告することとなった。
- ・「オキシテトラサイクリン、クロルテトラサイクリン及びテトラサイクリン」について調査審議し、継続審議することとなった。

3. 意見交換会の開催

(1) 意見交換会

ジュニア食品安全ゼミナール(沖縄県)

2月3日(金) <沖縄県>

- ・沖縄県との共催により開催。
- ・佐敷中学校1年生を対象として、副読本「科学の目で見る食品安全」を基にしたクイズを行った後、参加生徒と野村委員との意見交換を行った。

食品に関するリスクコミュニケーション～食品中の放射性物質対策に関する説明会～

2月6日(月) <宮城県>

- ・厚生労働省との共催により開催。
- ・事務局から食品中の放射性物質に係る評価書の概要について、厚生労働省から食品中の放射性物質の新たな基準値及び検査について、農林水産省から農業生産現場における対応について講演を行った。
- ・講演者と参加者との質疑応答を行った。

食品に関するリスクコミュニケーション～食品中の放射性物質対策に関する説明会～

2月10日（月）＜岩手県＞

- ・厚生労働省との共催により開催。
- ・事務局から食品中の放射性物質に係る評価書の概要について、厚生労働省から食品中の放射性物質の新たな基準値及び検査について、農林水産省から農業生産現場における対応について講演を行った。
- ・講演者と参加者との質疑応答を行った。

食品のリスクを考えるフォーラム（熊本県）～食品添加物を知ろう！～

2月10日（月）＜熊本県＞

- ・熊本県との共催により開催。
- ・事務局から食品添加物のリスク評価について、熊本県から検査等の状況について情報提供を行った後、参加者からの「質問カード」の紹介と参加者による発言を交えながら意見交換を行った。

食品のリスクを考えるワークショップ（神戸市）～知ってる？放射性物質～

2月17日（金）＜兵庫県＞

- ・神戸市との共催により開催。
- ・事務局から放射性物質のリスク評価について情報提供を行った後、参加者が小グループに分かれてのグループワークを行い、そこで出た質問や意見を基に、参加者全体での意見交換を行った。

食品に関するリスクコミュニケーション～食品中の放射性物質対策に関する説明会～

2月20日（月）＜愛知県＞

- ・厚生労働省との共催により開催。
- ・事務局から食品中の放射性物質に係る評価書の概要について、厚生労働省から食品中の放射性物質の新たな基準値及び検査について、農林水産省から農業生産現場における対応について講演を行った。
- ・講演者と参加者との質疑応答を行った。

食品に関するリスクコミュニケーション～食品中の放射性物質対策に関する説明会～

2月28日（火）＜大阪府＞

- ・厚生労働省との共催により開催。
- ・事務局から食品中の放射性物質に係る評価書の概要について、厚生労働省から食品中の放射性物質の新たな基準値及び検査について、農林水産省から農業生産現場における対応について講演を行った。
- ・講演者と参加者との質疑応答を行った。

（2）講師等派遣

- ・地方公共団体や各種団体が企画した講演会等に委員が講師として参加した。

月 日	講演会名	対応委員
2月13日	NPO法人くらしとバイオプラザ21 第5回 拡大談話会	小泉委員長